

基本計画



2

村民との協働

現状と課題

多様化する住民ニーズ※1などに対応するためには、行政主導の村づくりではなく、村民と行政によるパートナーシップの村づくりを進めていくことが求められます。

本村では、広報紙の発行ややまびこ通信による情報発信、地域づくり懇談会における意見交換、サポーターシステム※2による広報・広聴活動などに取り組んできました。また、開かれた村政をめざし、「情報公開条例」に基づき、ホームページや広報紙において情報公開を進めています。

村民との協働を進めていくためには、積極的な情報開示と村民との意見交換の場の充実が不可欠であるため、今後も継続的に実施し、村民の村政への参加を促していく必要があります。

基本方針

村民と行政の協働の村づくりを進めるため、広報・広聴の充実や積極的な情報公開に努めます。

施策の体系

村民との協働

① 広報・広聴の充実

② 情報公開の充実

※1 ニーズ:必要。要求。需要。

※2 サポーターシステム:地域と連携した村づくりを進めていくため、各公民館に担当職員を配置し、広報・広聴活動を充実させること。

施策

① 広報・広聴の充実

- 村民のニーズに応じた住みよい村づくりを推進するため、広報紙及びやまびこ通信等を通じた情報提供を充実させるとともに、地域づくり懇談会の実施による幅広い意見等の広聴に努めます。
- サポーターシステムによる広報・広聴活動を行い、地域との連携を強化します。

② 情報公開の充実

- 「情報公開条例」に基づき情報を公開し、村民の村政への参加促進や開かれた村政を推進します。



■ 地域づくり懇談会